

8月2日：月初の取引は外国人投資家が買い越し、VN指数は6日続伸

外国人投資家は両市場（ホーチミン、ハノイ市場）で引き続き買い越し、大型株は上昇、マーケット上昇の追い風となった。

先週からの上昇の流れを引き継ぎ、ホーチミン市場のVN指数は0.32%高の1,314.22ポイントとなった。

先週末に同指数は1,300ポイントの節目を上抜け、最終的に週間で3.2%上昇した。

値上がり銘柄数が値下がり銘柄数を上回り、210銘柄が上昇、167銘柄が下落した。

出来高は引き続き回復基調で、売買高が6億1,450万株、売買代金が約19兆8,000億ドン（8億6,100万米ドル）となった。

全てのセクターの大型株に買いが広がった。結果としてVN30指数は0.07%高の1,448.21ポイントで取引を終えた。

同指数組入銘柄のうち、15銘柄が上昇、15銘柄が下落した。

4.35%上昇したペトロベトナムガス（GAS）は値上がり寄与度でトップとなった。

ベトナム投資開発銀行（BID）、モバイル・ワールド・インベストメント（MWG）、マサングループ（MSN）、ベトナム航空（HVN）は、それに続いた。マサングループは1.64%高で、他の銘柄はそれを超える上昇となった。

他の大型株ではFPTグループ（FPT）+1.7%、ベトジェットエア+2.21%と好調だった。

しかし、銀行株を中心に一部利益確定売りの動きもあった。

1.02%下落したベトコムバンク（VCB）は値下がり寄与度トップとなった。

他には、ヴィエティンバンク（CTG）-1.66%、アジアコマーシャル銀行（ACB）-1.89%とそれぞれ売られた。

ハノイ市場のHNX指数も0.03%安の314.93ポイントだった。

売買高は1億760万株以上で、売買代金は2兆6,000億ドンを超えた。

その一方で、外国人投資家は引き続き両市場（ホーチミン、ハノイ市場）で合わせて3,013億4,000万ドンを買い越した。

そのうち、ホーチミン市場で2,968億5,000万ドンを、ハノイ市場で44億9,000万ドンを買い越した。

外国人投資家は先週の7月最終週も買い越した。

概ね、外国人投資家は売買高で1億7,600万株、売買代金で8兆2,000億ドンを買ひ、一方で売買高で1億6,800万株、売買代金で7兆5,000億ドンを売った。よって外国人投資家は先週、売買高で840万株、売買代金で7,230億ドンを買い越した。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。